

サンデン、新構造採用

次世代電動
圧縮機 静肃性など大幅向上

サンデンは開発中の次世代電動コンプレッサーで世界初の新構造を採用し、静粛性やコスト優位性を大幅に高める。現時点ではスクロール式の現行モデルと比べノイズがおよそ半減し、部品点数は3分の1以下になる見込みという。自動車の電動化に伴う静粙性への要求の高まりに応える。2026年末の商品開発完了後、29年の量産化を目指す。

従来型は渦巻き状の組み合わせた構造。スクリールの旋回によつて空気を圧縮する。静

A high-contrast, black-and-white halftone photograph of a person's face. The image is covered in a dense, uniform dot pattern, making individual features like eyes, nose, and mouth indistinct. The person appears to have dark hair and is looking slightly to the right. The background is also covered in a similar dot pattern.

電動コンプレッサー開発に力を入れる (現行モデルの第4世代)

燃性は比較的高い構造だが、電気自動車（E-V）は小さな音も目立つ。ちやすいため、より静かな新構造を開発する。圧縮効率を高め、

低コスト化も図る。新構造の詳細は公表していないが、「電動コンプレッサーでは世界初」（小林英幸副社長）という。新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の支援事業の採択を受けて研究開発を進める。

2025年秋にプログラミングで量産ラインを立ち上げる第5世代は従来型と比べ効率を4%、ノイズは3%、コストは15%改善した。内燃機関（ICE）車向けの依存度を低減する。